

日本活断層学会 2016 年度秋季学術大会プログラム

10月29日(土) 午後

シンポジウム

「活断層の長期評価手法の高度化に向けて—2014年長野県北部の地震・2016年熊本地震の検証—」

<趣旨>2014年長野県北部の地震および2016年熊本地震は、いずれも地震本部による主要活断層帯において発生し、明瞭な地表地震断層が出現した。本シンポジウムでは、これらの地震に伴って生じた地殻変動に関する最新の知見を整理し、活断層の長期評価手法の高度化に向け、活動区間や地下構造、地震発生確率の評価、また測地学的知見との関係などについて議論する。

* 非会員の方も聴講できますが、大会参加費が必要となります。

司会：山口 勝

13:10 趣旨説明

松多信尚

13:15 S-1 地表地震断層と地殻変動—2014年長野県北部の地震と2016年熊本地震を事例に—

熊原康博・後藤秀昭・廣内大助

13:45 S-2 長期評価の考え方とその変遷

島崎邦彦

(休憩 14:15~14:25)

14:25 S-3 固有地震モデル再考—破壊開始点・連動・活動間隔のゆらぎの本質を探る—

遠田晋次

14:50 S-4 沈み込み帯地震発生モデルの構築に向けて

佐藤比呂志・石山達也・橋間昭徳

15:15 S-5 GNSS データから見出される日本列島のひずみ集中帯と活断層及び内陸地震

西村卓也

(休憩 15:40~15:50)

15:50~16:15 総合討論

16:45~17:45 一般研究発表(ポスター) コアタイム

18:00~20:00 懇親会

10月30日(日) 午前

一般研究発表(口頭)

座長: 中埜貴元

- 9:10 O-1 モンゴルにおける UAV による 1967 年モゴド地震の地表地震断層調査(速報)
石黒聡士・鈴木康弘・Dangaa Enkhtaivan・Sukhee Battulga・Dalai Serjmyadag
・Enkhjargal Odbaatar・Bayarsaikhan Sainbuyan
・松多信尚・石井祥子・隈本邦彦・稲村哲也
- 9:30 O-2 地震断層と海岸隆起から推定される 2013 年フィリピン・ボホール地震の震源断層
中田 高・後藤秀昭・堤 浩之・宮内崇裕・活断層マッピングチーム
- 9:50 O-3 泊原子力発電所敷地内の活構造と「将来活動する可能性のある断層等」
渡辺満久
- 10:10 O-4 北海道電力泊発電所(泊原発)敷地内の「活断層」～新規制基準適合性審査における原子力規制委員会と学会の役割を問う～
小野有五・斉藤海三郎

(休憩 10:30~10:40)

座長: 田力正好

- 10:40 O-5 最終間氷期海成段丘に基づく三陸海岸北部の地殻変動
宮崎真由美・石村大輔
- 11:00 O-6 能登半島北部内浦の完新世海成段丘と地殻変動
大畑雅彦
- 11:20 O-7 熊本市街地付近の活断層と 2016 年熊本地震による地表変状
後藤秀昭・堤 浩之・遠田晋次・熊原康博
- 11:40 O-8 SAR 干渉解析による平成 28 年(2016 年)熊本地震に伴う熊本市内の地表変位と地下構造との関係
中埜貴元・森下 遊・小林知勝・藤原 智・宇根 寛

10月30日(日)午後

13:00~13:20 表彰式

一般研究発表(口頭)

座長:石村大輔

13:30 O-9 活断層で発生する地震の地震モーメント事前推定

島崎邦彦

13:50 O-10 2016年熊本地震時に「清正公道」に沿って出現した地震断層

渡辺満久・中田 高・後藤秀昭・田中 圭・鈴木康弘・高田圭太

14:10 O-11 平成28年熊本地震に伴い阿蘇外輪山北西部に現れた多数の地表変位について

宇根 寛・中埜貴元・藤原 智・小林知勝・森下 遊・佐藤 浩・八木浩司

14:30 O-12 2016年熊本地震での地表変位と被害

原口 強

(休憩 14:50~15:00)

座長:堤 浩之

15:00 O-13 平成28年熊本地震時に益城町郊外で生じた地表地震断層近傍の地震動について

香川敬生・吉田昌平・上野太士

15:20 O-14 稠密臨時余震観測による2016年熊本地震震源域の断層形状と地殻構造

青柳恭平・木村治夫

15:40 O-15 中部日本の大地形形成についての1アイデア

小松原 琢

(終了 16:00)

一般研究発表（ポスター）

10月29日（土）スカイホール（16:45～17:45 コアタイム）

* ポスターボードはシンポジウム終了後スカイホール内に設置します（16:30頃から掲示可能の予定）.

10月30日（日）会議室A

* ポスターボードは30日の朝にスタッフがスカイホールから会議室Aへ移動します（29日のお帰りの際は掲示したままで結構です）.

* ポスターは30日15:00までに必ず撤去して持ち帰りをお願いします.

- P-1 全国の活断層から発生する $M \geq 6.8$ 地震の発生頻度と確率
近藤久雄・岩切一宏・谷 広太・佐竹健治
- P-2 糸魚川－静岡構造線活断層帯を対象とした活動履歴と G-R 則に基づく地震発生頻度の比較
儘田 豊・内田淳一
- P-3 精細 DEM から作成したステレオ地形解析図による効率的な変動地形の判読
栗田泰夫
- P-4 干渉 SAR を使用した新たな地表地震断層検出方法
小俣雅志・郡谷順英・三五大輔
- P-5 関東大震災の空撮写真から地盤変動を解析する
蟹江康光・蟹江由紀
- P-6 上高地の活断層運動－1998年飛騨山脈群発地震の震央集中域の形成と活断層との関係－
本合弘樹・原山 智
- P-7 糸魚川静岡構造線活断層帯北端部の変動地形
高橋直也
- P-8 2014年長野県神城断層地震において地表に現れた断層変位地形とそれらを利用した歴史遺構
大塚 勉・下田 力
- P-9 糸静線南部の活動と赤石山脈北部の隆起・削剝史：低温領域の熱年代と thermo-kinematic モデルによる検討
末岡 茂・池田安隆・狩野謙一・堤 浩之・田上高広・Kohn B. P.
・長谷部徳子・田村明弘・荒井章司・柴田健二
- P-10 湖北地域の八田部盆地における伏在活断層の後期更新世の活動性
加藤茂弘・岡田篤正・石村大輔
- P-11 中央構造線断層帯（金剛山地東縁－和泉山脈南縁）の分布・変位速度・活動履歴に関する新知見
堤 浩之・杉戸信彦・木村治夫・小俣雅志・郡谷順英
・谷口 薫・竹村恵二・岡田篤正・後藤秀昭
- P-12 1943年鳥取地震鹿野断層における地中レーダーおよび微動探査
野口竜也・香川敬生・上野太士・吉田昌平・西田良平
- P-13 四国地方外帯山地の活断層とそのテクトニックな意義：高知県中央部、上八川断層（仮称）の例

- 田力正好・中田 高・堤 浩之・後藤秀昭・水本匡起・松田時彦
- P-14 2016年熊本地震に伴う地表地震断層の特徴
熊原康博・大学合同調査グループ
- P-15 2016年熊本地震に伴う地表地震断層とその特徴
白濱吉起・吉見雅行・栗田泰夫・丸山 正・吾妻 崇・宮下由香里・森 宏
・今西和俊・武田直人・落 唯史・大坪 誠・朝比奈大輔・宮川歩夢
- P-16 Google Earth を利用した 2016年熊本地震の地表変動の解析
井口 豊
- P-17 熊本県益城町の 2016年熊本地震被害集中域におけるボーリング調査結果（速報）
吉見雅行・秦 吉弥・後藤浩之・細矢卓志・森田祥子・徳丸哲義
- P-18 熊本県益城町における 2016年熊本地震の地表地震断層と近傍の建物被害指数の調査
郝 憲生・内藤昌平・吾妻 崇・先名重樹・佐伯琢磨
- P-19 熊本県緑川断層帯のトレンチ調査
東郷徹宏・吉岡敏和・向井理史・堀川滋雄